

Dappe

地域おこし協力隊の鋸南ぐらし

8
2020



Dappe

発行元 鋸南町地域おこし協力隊
住所 AKARI(地域おこし協力隊拠点)
〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町保田66-1
執筆 黒澤徹 清水多佳子 室井翼



location
表紙: 保田中央海水浴場

地域おこし協力隊移住担当の室井です。今年は梅雨が長かったですね。地域おこし協力隊に着任し、SNSをはじめて1年半。現在約600人の町内外の方々がフォローしてくれています。その中に結構な数で「鋸南町出身」の方々がいらっしゃいます。自分が町内の写真を投稿すると「子どもの頃にそこでよく遊んでいた」「懐かしい、帰りたくなる」などコメントをくれる方もいます。自分にとっては、それがすごく嬉しいのです。鋸南から離れてしまった方は、鋸南での日常の風景を、より愛おしく感じているのかもしれませんが、自分は他所から来たので状況は違いますが、この町の「日常の風景」に惹かれていることは同じです。いつかその方々がUターンで鋸南町に戻ってきてくれることを楽しみに、発信し続けたいと思います。



グーグルマップへの英語の入力作業をすすめています。

地域おこし協力隊で観光を担当しております清水です。まだまだ新型コロナの収束が見えない中、試行錯誤しながら活動をすすめています。今、私が取り組んでいるのは、グーグルマップの鋸南町の情報を英語に変換していく作業です。

グーグルマップ、みなさん、使ったことはありますか？ ネットで見れる地図のことです。ふだん日本語で表示されていますが、英語表示にすることもできます。外国人が日本に来たときに参考にしてほしいと考え、施設や飲食店情報を英語で表示できるように入力作業をすすめています。

また、観光協会のサイトの内容も、飲食店の情報を写真と文章で充実させていきます。新型コロナが落ち着いたところに、たくさんの人に来ていただき鋸南町の魅力を十分に味わっていただきたいと考えています。



東京都大田区から鋸南町に引っ越してきて、はや2年。海の近くに住んでみたいと思ったのがきっかけでした。ただ、海のある町なんて、日本にはたくさん存在します。では、なぜ鋸南町だったのか、ということをお話してみたいと思います。

実は、地域おこし協力隊に応募する前、南の離島に行ったり、東北方の海沿いの町に行ったりしました。南の離島の海は澄んでいました。「海がきれいなだけで移住できない」と感じました。自分にとって、どこか非日常の海という印象だったのです。また、

東北の町は、私にとって寒すぎました。そんなとき、南房総エリアを訪れ、内房線から見る海の美しさに心を奪われました。ちょうどタイミングよく、鋸南町で地域おこし協力隊の募集があったので応募したというわけです。あのときの直感は正しかった、と思っています。鋸南町の穏やかな海は、ときどき私の気持ちを癒してくれます。内房線から見える海の美しさ——。初めて鋸南町に来たあのときの気持ちを忘れずに、この町の魅力をこれからも伝えていきたいと思っています。

内房線 から見える 海の美しさ に魅かれて。



こんにちは！地域おこし協力隊、有害鳥獣対策担当の黒澤です。私の地域おこし協力隊退任後の活動予定については度々述べてきました。本日現在、コロナウィルス感染予防対策の影響により、観光事業については全く先の読めない状況ですが、他の部分は少しずつ進めています。中佐久間（中尾原）に拠点を設け、獣害対策支援事業を行う鋸南営業所の開設、よりローカルな活動の拠点と地域の獣害サロンのな。第3の場所を作るための準備を行っています。仕事の合間を縫って、家屋の修繕等を進めています。（既に多くの鋸南町在住の皆さんに有り難い事にご協力をいただいています。この場で御礼申し上げます。）

先日、上記営業所に地域限定旅行会社の登録（千葉県知事登録）を終えました。鋸南町に待望（？）の旅行会社が誕生です。

ただ、一般的に考えられている旅行会社（よく「旅行代理店」と呼ばれるような役割）とは設立コソセプトが異なります。旅行会社と言え、家族の海外旅行をアレンジしたり、大手旅行会社のパッケージツアーを紹介したり、町会や職場、学校の旅行を手配したり、添乗員が向く観光地の案内をしたり、というイメージでしょう。これに対して、私が想定している旅行会社は、鋸南町の魅力を外部にアピールしたり、鋸南町内で旅行を楽しんでもらうための準備や手配をしたり、鋸南町や周辺地域でのプログラムを組み合わせたツアーを企画したり、というどちらかと言うと、観光客呼び込むことを目的とした旅行会社です。鋸

南町から日本各地の観光名所や海外にご案内することが中心ではないタイプの旅行会社です。専門用語では「DMO的」と言いますが、

地域の観光資源を見極め商品化し、PRを行う観光局とか案内所に役割としては近いかもしれません。

一概に「鋸南町の魅力は海や山の自然が豊か、首都圏からアクセスが良い」といった観点だけでは鋸南町ならではの、鋸南町にしかない魅力を伝えられません。弱いわけです（だって、例えば日本列島は海に囲まれ、国土の多くが山岳地帯である特徴から自然が豊かで食べ物が美味しいところなどは日本中に存在するわけです）。

全国の魅力的な観光地に負けない鋸南町の魅力は何なのか？を誰が考えて、誰がその魅力をお客さんに伝えるのか？が、問われています。私は地域の課題に取り組む人そのものが観光資源・都市住民

にとつての魅力になると思っています。

人がその地に住み続ける大きな理由は、「縁」だったりします。この「縁」を生む機会は地元の人による訪れる人への働きかけなわけです。ここに鍵があると考えています。どれだけ地元の皆さんが誇りを持って、「縁」を生み出す活動にその必要性を感じ取り組めるか？だと思っています。

合わせて人口減少傾向が顕著で、益々農家さんの負担が増す獣害対策に、関係人口を巻き込んだ体制作りで地域振興・地域活性化を目指すという大きな夢も抱いています。そのための足がかりとして、地域に密着した拠点での活動として、地域住民と外部からの訪問者や支援者が気軽に関わられる場を作りたいと考えています。引き続きよろしく願い申し上げます。

(1) DMO...Destination Management / Marketing Organization

